

## NEWS RELEASE

## ダイニチ工業 石油ファンヒーターによる浮遊ウイルス除去効果の確認

ダイニチ工業株式会社(本社：新潟県新潟市、代表取締役社長：吉井久夫)では、石油ファンヒーターによる浮遊ウイルスの除去性能評価試験を行い、その除去効果を確認しました。

※ 新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)に対する除去性能評価試験ではございません。

当社は、(一財)北里環境科学センターにおいて、日本電機工業会規格 JEM1467「浮遊ウイルスに対する除去性能評価試験」を参考に、石油ファンヒーター(ウイルス除去のための改造、装置追加等はしておりません)を30分間運転した際のウイルス除去効果を確認しました。(試験協力：暮らしの科学研究所株式会社)

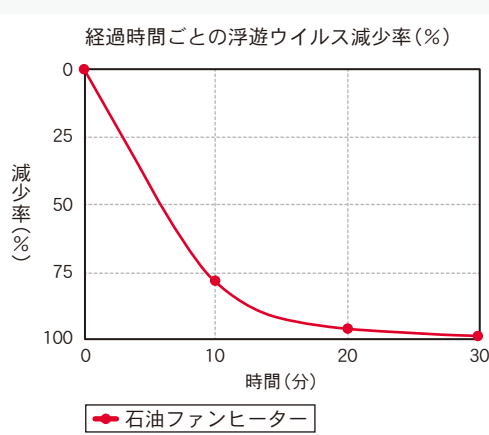
なお、本試験結果は、特定条件下における試験空間での除去効果であり、実使用空間での実証結果ではありません。実際の除去効果は換気条件や使用方法によって異なり、特定のウイルスや菌による疾病の予防効果は検証しておりません。

**■試験概要** 25m<sup>3</sup>の試験空間内で試験品を運転し、ウイルス噴霧器で試験ウイルスを浮遊させ、攪拌後、初発(0分)の浮遊ウイルスをインピンジャーで捕集した。その後、経時的に試験空間内の浮遊ウイルスを捕集し、インピンジャーの捕集液を適宜希釈し、ウイルス数を測定した。また、試験対照として、試験品を運転しない条件を同様に測定した。

**■試験結果** 25m<sup>3</sup>空間内の浮遊ウイルスを30分で99%除去できることを確認した。

表：経過時間ごとの浮遊ウイルス減少率(%)

	時間(分)			
	0	10	20	30
減少率	-	79%	96%	99%



【試験機関】(一財)北里環境科学センター【試験方法】約25m<sup>3</sup>の試験空間で、日本電機工業会規格 JEM1467 を参考にした試験方法にて実施【試験対象】浮遊した1種類のウイルス【試験結果】30分で99%除去(報告書番号：北生発2020\_1333号)【試験機】ダイニチ工業製FW-3619L 定格運転で実施(試験協力：暮らしの科学研究所株式会社)